

2022 年度 法医学 追試の再試

2023/02/13 実施

I

高齢男性。肩に痛みがあったため病院を受診。頸椎症の疑いがあると言われる。

後日意識障害をおこしたため別の病院に運ばれ大動脈解離と診断された。

数日後、心タンポナーデを合併し死亡

追記

数年前に胃癌を全切除していた

高血圧のため以前から降圧剤を服用していた

問 1 直死因はどれか

- a. 頸椎症
- b. 大動脈解離
- c. 心タンポナーデ
- d. 胃癌
- e. 高血圧

問 2 原死因はどれか

- a. 頸椎症
- b. 大動脈解離
- c. 心タンポナーデ
- d. 胃癌
- e. 高血圧

問 3. 縊頸、絞頸、扼頸について、以下の表を埋めなさい。

	手段(用いるもの)	荷重(かかる力)	自殺・他殺・事故の別
縊頸			
絞頸			
扼頸			

問 4 早期死体現象について説明せよ

問 5 異状死の定義

問 6 現場に血痕と毛髪毛幹部が残っていた。DNA 多型を用いた個人識別で最も 適切なものを選択肢から選べ。

1. VNTR
2. STR
3. ミトコンドリア DNA(SNP)
4. DNA フィンガープリント
5. INDEL

血痕()

毛髪毛幹部()

問 心臓死の徴候として正しいものはどれか、3 つ選べ。

- a. 脳波の平坦化
- b. 呼吸の停止
- c. 深部腱反射の消失
- d. 瞳孔の散大
- e. 心拍の停止

問 70 歳男性。末期癌で在宅ケアを受けている。担当医が週 2 回午後に往診にきている。最後の往診 の翌日の午前、訪問看護師から死亡を看取ったとの連絡あり。直ちに往診し、診療中の末期癌で死亡したと判断した。担当医が行うべきことを 1 つ選べ。

- a. 警察に連絡し、検案医を求める。
- b. 警察に連絡し、死体検案書を作成する。
- c. 直ちに死体検案書を作成する。
- d. 直ちに死亡診断書を作成する。
- e. 死亡を看取った訪問看護師に死亡診断書を作成させる。

問 正しいものを選べ

- a. 表皮剥脱は生活反応である。
- b. 皮下出血は受傷直後から明確に判別できる。
- c. 挫創は受傷部位以外でも生じうる。
- d. 非解放性損傷のことを「傷(狭義)」という
- e. 二重条痕とは二本線状の表皮剥脱のことである。

問 CO 中毒について正しいものを 2 つ選べ。※編集注：実際に出題されたのは下記の類題です

- a. CO ヘモグロビンの飽和度 10%は致死域である
- b. 死斑は暗赤紫色である
- c. ヘモグロビンは一酸化炭素との方が酸素とよりも親和性が高い
- d. 貧血の人は CO 中毒になりやすい
- e. 重症でも後遺症を残さずに回復する

問 病死といえるものを 1 つ選べ。

- a. 肺癌患者が入院中にトイレで死亡していた
- b. 救急患者が 2 時間後急性心筋梗塞で死亡
- c. 【再現不能】
- d. 【再現不能】
- e. 【再現不能】

問 65 歳の男性。監察医制度の地域にある自宅で死亡が発見された。施錠なし、体表に外傷や腐敗を認めない。財布がなくなっていた。男性を診察していた医師は突然死するような病歴はないという。所轄警察は犯罪性ありと判断した。裁判所から解剖を行う指示があった。行う解剖の種類は何か。

- a 病理解剖
- b 行政解剖
- c 司法解剖
- d 承諾解剖
- e 系統解剖

問 脳死判定について正しいものを 1 つ選べ

- a. 2 回目の脳死判定は 1 回目から 12 時間空けて行う
- b. 脳波の測定は最後に行う
- c. 【再現不能】
- d. 【再現不能】
- e. 【再現不能】

問 電撃死について、正しいものを選び

- a. 電流斑は皮下出血である
- b. 感電死の死因は心房細動が最も多い
- c. 直流より交流の方が危険である
- d. 一般家庭用電流は安全レベルである
- e. 濡れている衣服は通電性が低い

問 アルコール(エチルアルコール)について正しいものを 1 つ答えよ。※編集注：実際に出題されたのは下記の類題です

- a. アルコールは腎臓で代謝される。
- b. 摂取したアルコールは全身臓器に一様に分布する。
- c. 毛髪を調べることで、過去のアルコール過剰摂取を証明できる。
- d. アルコールは神経抑制作用を示す。
- e. 血中アルコール濃度はアルコール摂取直後から常に尿中アルコール濃度より高い。

問 35 歳男性。ある秋の夕方、自宅の鴨居(2m)にロープを結び首を吊っているのを帰宅した家族が発見した。直ちにロープを切って救急隊を要請したが、死後硬直が認められたため搬送しなかった。

約 1 時間後に死体検案を行った。直腸温は 22°C(室温 22°C)、硬直は全身に高度であった。死斑の分布として正しいものはどれか。

- a. 顔面
- b. 下半身の背面
- c. 下半身全体
- d. 全身の背面
- e. 全身

問 死亡診断書(死体検案書)に病死と記載できるものを選べ。

- a 交通事故で多臓器障害、入院中続発性肺炎で死亡
- b 交通事故で脳損傷、入院中に多臓器不全で死亡
- c 交通事故で全身打撲、入院中に急性腎不全で死亡
- d 交通事故で肋骨多発骨折、入院中に高血圧性脳出血で死亡
- e 交通事故で全身打撲、入院中に肺血栓塞栓症で死亡

問 死亡診断書について正しいものを選べ。

- a. 保健所に提出する。
- b. 死亡診断書に付随する死亡届は医師が記入する。
- c. 遺族に交付するものと人口動態統計用のものは別である。
- d. 歯科医師も交付できる。
- e. 死亡した患者の病院の院長が交付する。

問 溺死について正しいものを 2 つ選べ。※編集注：次の問題とこの問題の選択肢を混ぜたような問題だったそうです

- a. 肺は肺門水腫状と辺縁部気腫状を呈する。
- b. 鼻口周囲の白色泡沫は溺死に特異的である。
- c. 口腔粘膜の溢血点は溺死に特異的である。
- d. 漂母皮は生活反応である。
- e. 海水溺死では血中のナトリウム濃度が上昇する。

問 溺死において正しいものを 2 つ選べ。※編集注：前の問題とこの問題の選択肢を混ぜたような問題だったそうです

- a. 口腔粘膜に溢血点は溺死に特異的
- b. 鼻口周辺に白色泡沫が生じるのは溺死に特異的
- c. 溺死肺は肺文部水腫と辺縁部気腫
- d. 漂母皮は生活反応である
- e. 淡水溺死は高カリウム血症が起きる

問 焼損死体の所見について死因判定に有用なものを以下から 2 つ選べ。

- a. 蜂窩状に硬膜外血腫
- b. 心臓内の血液が鮮赤色
- c. 焼損した皮膚が裂け腸管が露出している
- d. 気管内に煤が付着している
- e. 拳闘士様姿勢

問 2010 年に改正された臓器移植法で認められているものはどれ か、2 つ選べ。

- a. ドナーカードを持っていない場合の臓器移植
- b. 親族の同意なしの臓器移植
- c. 海外渡航による臓器提供
- d. 親族以外への臓器の優先提供
- e. 15 歳未満の臓器移植

問 合法的な人工妊娠中絶について正しいものを 2 つ選べ。

- a. 重度の知的障害を有する妊婦は意思の確認が取れないため、中絶できない
- b. 家庭裁判所の承認が必要である。
- c. 妊婦と配偶者の同意が不可欠である。
- d. 妊婦の経済的事情は人工妊娠中絶の対象である。
- e. 暴力によつての妊娠は人工妊娠中絶の対象である。

法医学について

1：出席等について

すべての授業において、秘書さんが座っている席をチェックするという方式で出席を取っておりました。

2：コアタイムについて

コアタイム(木曜日実施)のレポートは、試験(金曜日)開始直前に回収しておりました。時間が無いので気をつけてください。

3：法医学の合否情報など

本試の実施日は2022年12月23日、発表は2023年1月17日でした。

再試の対象者は25名(うち、本試欠席者17名)。再試の実施日は2023年1月30日、再試の発表は2023年2月6日でした。再試・追試については「試験の形式は、本試験と同様MCQと記述です」という予告がなされました。

再再試となった者は9名(再試の再試が2名、追試の再試が7名)であり、追試の再試は2023年2月13日に行われました。再試の再試については口頭試問が行われました(日程は個別調整)。

生命倫理も含めて、全員の合格が2023年3月1日に発表されました。